

きらり 通信

令和6年3月15日(金)発行 第43号
福島県須賀川市芦田塚13番地の5
電話(小・中校舎)0248-76-2511
(高等部校舎)0248-94-6781



令和5年度地域支援センター「きらり」活動報告

【各支援状況について】3月8日現在

- ① 出かける支援・・・77件
- ② 研修支援・・・・・・ 6件
- ③ 来校・相談支援・・・45件



- ①: 計19か所の園や、小・中学校等に訪問し、ニーズに応じた支援を行いました。
- ②: 各市町村教育委員会等主催の研修会では、特別な支援の必要な子どもたちの理解と支援について先生方と考えました。
- ③: 本校入学の有無にかかわらず、相談を受け付けています。特に入学先の一つとして少しでもお考えの方は、早めの相談申し込みをお願いいたします。

【地域支援アドバイザーより】

地域支援アドバイザーは、特別な支援を必要とする子どもたちの就学前から学校卒業までの切れ目のない支援体制構築のため、市町村教育委員会や医療、保健、福祉等各関係機関と連携を図りました。

特に須賀川市や鏡石町のこども園や幼稚園、保育園、小学校では、保育や授業参観を行い、具体的な指導に関する支援や手立て、目標について先生方と個別の教育支援計画を活用しながら話し合いました。また、ニーズに応じて保護者の方や福祉等各関係機関の方々と連携し、ケース会議を開きました。



【入院児童生徒支援員より】

令和5年度より児童思春期病棟に入院する児童生徒の支援体制構築に向けて、須賀川支援学校本校、同じく郡山校2校の地域支援センターに入院児童生徒支援員が配置されました。本校は、ふくしま医療センターこころの杜児童思春期病棟へ週2回訪問し、本人の在籍校とつながった「学びの環境」を整えるため、在籍校や医師、ソーシャルワーカー、医療スタッフの方々、そして各関係機関と連携しました。

児童思春期病棟「こなら病棟」では、小学生から高校生までのお子さんが入院しています。主に小中学生に対して「杜の学校」と呼ばれる学習室で学習支援を行っています。本人の状態に応じて、在籍校と連携し、課題を調整したり、タブレット端末での学習やオンラインでのやりとりをしたりしながら入院中だけでなく、退院後に向けて在籍校との繋がりが途切れないようにしています。

【特別支援教育研修会】

地域の先生方や各関係機関を対象にした特別支援教育研修会をふくしま医療センター こころの杜 副院長 井上祐紀先生をお招きし、「こころの病気を抱える子どもの教育的支援」について御講演頂きました。

3年ぶりの参集となる研修会へは、県内より180名の先生方に御参加いただきました。

令和6年度も、特別支援教育研修会を企画しております。

各学校宛、HP等でも御案内いたします。どうぞ御参加ください。

